表通り裏通り

春の風物詩
小江戸川越春まつり

三月二十五日から小江戸川越春まつりが始まりました。オープニング当日は、小雨の降る場面もありましたが、参加された皆さんの笑顔が印象的でした。そんな、春まつりの様子を集めてみました。

桜がちょうど見ごろでした。４月１日に行われた新河岸川桜まつり

大道芸に拍手!!

オープニングのテープカット

民踊流し

無料体験できた人力車

４月８日に行われた老袋の万作
ことしは踊りが行われました

みんなで同じポーズ
「イェーイ」

４月15日に行われた石原のささら獅子舞

勇壮な和太鼓の響き

お台場に鉄砲の音響く！

潮風公園太陽の広場で演舞

川越藩火縄銃鉄砲隊保存会による演武が、川越城築城550年・市制施行85周年を記念して、４月１日に潮風公園（品川区）で行われました。江戸時代に、江戸湾の海防の目的で造られた台場を川越藩が警備していたことにちなみ、台場のあるお台場海浜公園（港区）と隣接する潮風公園での開催となりました。

川越藩鉄砲隊の皆さん55人が行進

ほら貝の音を合図に出発した鉄砲隊の皆さんは、第三台場から海岸沿いを行進しました。集まった観光客の皆さんは、初めて見るよろい姿の行列に興味津々。鉄砲隊の写真を撮る姿を、多く見かけました。潮風公園では、迫力のある音に、「すごいね」と見ている皆さんはびっくりしている様子でした。

ふれあいのオープニング

４月18日から24日まで、川越まつり会館でNHK大河ドラマ「風林火山」展が開催されました。会場には、衣装の展示、歴史パネル・野営の様子などが展示され、期間中に8,000人以上の皆さんが訪れました。

18日には、河越夜戦の主役・北条氏康を演じる俳優・松井誠さんを迎えて開会式が行われました。松井さんは「川越の観光に、少しでも役に立てれば」とあいさつ。会場には大勢の皆さんが訪れ、松井さんから展示物の説明を受けたり、いっしょに写真を撮たりするなど、楽しい時間を過ごしていました。６月には、同ドラマで「河越夜戦」が放映されます。

皆さんにわかりやすく解説する、和服姿の松井さん(左)

川越かわごえ人びと 35

菅原正之さん（88歳・古谷上）

小江戸川越観光親善大使の菅原さんは、風景を中心に描いている水彩画家です。菅原さんが一番街で絵を描いていると「あっ、南岳さんだ」と、初めて観光に来た人からも声が掛かります。その時は、「よっ、どこから来たの？」と気さくに応えます。皆さんに親しまれている、雅号の「南岳」の由来は、戦時中に滞在していた中国の地名。緑の美しい所で、名前を考えたときに、景色の美しさが浮かんできて決めました。

出身は福島県。五十二歳の時に川越に移り住んでからは、時の鐘に魅せられ、一番街の風景を中心に多くの作品を描きました。

現在、週一日ほど一番街周辺を描きに来ています。「絵を描いていると、観光に来た方と話をする機会が多くあります。皆さんに川越を好きになってもらえるようにと考えながら、絵のことや川越の美しさなどを話しています」と菅原さん。これからも体力の続くかぎり、好きな川越の町並みを描き続けていきたいと思っています。

観光に来た方と楽しいひととき

時の鐘は一番好きな風景です